

豊能定例会議

- 10:00～10:10
 - ・新規入会紹介《アマゾンウェブサービス ジャパン合同会社》
《代表理事より》
- 10:10～10:30
 - ・イベント関連&告知
 - ・横展開WG
 - ・予算関連・進捗
 - ・契約関連
 - ・アンケートの段取
 - ・APIカタログ
 - 《事務局より》
 - ・議事録の確認のお願い
 - ・個人情報保護法勉強会
2月21日(火)16:00～17:30 3月2日(木) 13:00-14:30
 - ・次回現地開催予定 2月22日 (QUINTBRIDGE)

10:30～ 分科会

今後のスケジュール

- ・2月14日 真庭市データ利活用フォーラム
- ・2月16日 OSPF成果報告会
- ・2月21日 スマートシティと個人情報保護法～法令の概要と体制整備の進め方～
- ・3月2日 スマートシティと個人情報保護法～ガイドラインの解説とFAQ～
- ・3月14日 OZCaF INNOVATION CONFERENCE

真庭市データ活用フォーラム

参加無料

～誰でも始められるスマートシティとデータ活用の世界～

現在我が国では、急速な少子高齢化による様々な地域課題に対して、デジタル技術やデータを活用することで解決しようとする政策を進めています。しかしながら、それらが実際には、どのように進められ、これまでと何が変わるのか、具体的に理解・実感できていないのではないかと思います。

本フォーラムでは、大阪府豊能町において、コンパクトスマートシティ、地域課題の解決に向けたデータ活用の先進的な取り組みをしておられる一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事江川将偉氏からの他の地域事例紹介を含めた講演とフォーラムによって、真庭市が目指す共生社会の実現とその実現のための仕組みの一つでもあるデジタル地域通貨「まにこいん」活用について、皆様と一緒に、データを活用したまちづくりについての理解を深めたいと思います。

1. 日時：令和5年2月14日（火）17：30～19：30
2. 場所：真庭市勝山文化センターポンテホール1階
3. 対象参加者：真庭市民 【参加費無料】



※参加申し込みは、右記QRコードからお願い致します。

4. 内容：

- ① ご挨拶：太田昇（真庭市市長）
- ② 基調講演：「誰でも始められるスマートシティとデータ活用の世界」
講師）江川将偉（一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事）
- ③ フォーラム：「市民生活を向上させるデータ活用と仕組み」
モデレータ）山本正行（株式会社まちと学びのイノベーション研究所代表取締役CEO）
発表者）櫻井彩子（真庭商工会女性部）、森安啓（トマト銀行営業統括部長）、川田修平（フィノバレー代表取締役社長）、大石登紀子（豊能町まちづくり創造課課長補佐）、樋口竜悟（真庭市総合政策部課長）
コメンテータ）江川将偉（一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事）
- ④ 質疑応答

【基調講演 講師プロフィール】



江川 将偉 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（略称：CSPFC）代表理事
AI（自動運転・スマートホーム・セキュリティ（半導体レベルのベンチャー）元代表取締役）
2017年7G（IT）にて日本代表のイノベーターとして Digital Transformation Team に参加
・株式会社OZ1 代表取締役 スマートシティデジタルプラットフォームの開発
・大阪府スマートシティ戦略 元アドバイザー OSPF の立上げ等
その他、大学講師や自治体アドバイザーなど「デジタル活用まちづくり」に従事
現在、大阪府豊能町をスマートシティのモデル地区として全国にスマートシティを「コピー&ペースト&地域オリジナル（CPO）」で簡単に始められるモデルを展開中



1. 日時：令和5年2月14日（火）17：30～19：30
2. 場所：真庭市勝山文化センターポンテホール1階
3. 対象参加者：真庭市民 【参加費無料】
※参加申し込みは、右記QRコードからお願い致します。

4. 内容：

ご挨拶：太田昇（真庭市市長）

基調講演：「誰でも始められるスマートシティとデータ活用の世界」

講師）江川将偉

（一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事）

フォーラム：「市民生活を向上させるデータ活用と仕組み」

モデレータ）山本正行（株式会社まちと学びのイノベーション研究所代表取締役CEO）

発表者）

櫻井彩子（真庭商工会女性部）、

森安啓（トマト銀行営業統括部長）、

川田修平（フィノバレー代表取締役社長）、

大石登紀子（豊能町まちづくり創造課課長補佐）、

樋口竜悟（真庭市総合政策部課長）

コメンテータ）

江川将偉（一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会代表理事）

質疑応答

PROGRAM OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

プロジェクト成果発表会 PROJECT

OSAKA Smart City Partners Forum

13:00-13:20 はじめに
大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長 坪田 知巳

13:20-13:40 Key Note Speech
「オール大阪での公民連携プラットフォームが公と民の出会いを紡ぐ」
大阪府スマートシティ戦略エグゼクティブディレクター 吉澤 正登 氏
「地域社会課題解決に向けた持続可能なスマートシティ・脱炭素社会の実現」
一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション 代表理事 田中 靖訓 氏

13:40-15:40 プロジェクトコーディネーター企業成果発表

15:40-16:30 プロジェクト推進補助金事業報告

16:30-17:00 大阪府福祉部との事業連携協定締結企業事業報告
大阪府福祉部長 吉田 真治 他

17:00-17:10 質疑応答/おわりに

※写真撮影、会員交流会あり(会場参加のみ)

日時 2023年2月16日Thu
13:00-18:00

会場 QUINTBRIDGE
(大阪市都島区東野田町4丁目15番82号)

※オンラインライブ配信URL▶

プロジェクトコーディネーター企業

MSSAD 大阪府スマートシティ戦略部
Blue-Cloud 株式会社
COMPACT SMART CITY
Digital Platformer
TOPPAN
NEC
大阪公立大学
DNP
TIS
三井住友海上
東京海上日動

- (1) はじめに
大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長 坪田 知巳
- (2) Key Note Speech
「オール大阪での公民連携プラットフォームが公と民の出会いを紡ぐ」
大阪府スマートシティ戦略/公民戦略連携デスク エグゼクティブディレクター 吉澤 正登 氏
「地域社会課題解決に向けた持続可能なスマートシティ・脱炭素社会の実現」
一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション 代表理事 田中 靖訓 氏
- (3) プロジェクト説明(各企業代表者) / 質疑応答
 - ・ **一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会**
(子育てしやすいまちづくりほか)
 - ・ Digital Platformer株式会社 (インバウンド・観光の再生)
 - ・ 凸版印刷株式会社 (インバウンド・観光の再生)
 - ・ 日本電気株式会社 (インバウンド・観光の再生)
 - ・ TIS株式会社 (スマートヘルスシティ)
 - ・ 三井住友海上火災保険株式会社 (高齢者にやさしいまちづくりほか)
 - ・ 損害保険ジャパン株式会社/大日本印刷株式会社 (移動がスムーズなまちづくり)
 - ・ 東京海上日動火災保険株式会社 (安全・安心なまちづくり)
 - ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (データ利活用)
 - ・ 大阪公立大学 (データ利活用)

— 質疑応答 —
- (4) プロジェクト推進補助金事業報告
- (5) 大阪府福祉部との事業連携協定締結企業事業報告
大阪府福祉部長 吉田 真治 他
— 質疑応答 —
- (6) おわりに
— ライブ配信終了 —

<https://smartcity-partners.osaka/20230216-2/>

Powered by OSAKA Zero Carbon Smart City Foundation

OZCaF INNOVATION CONFERENCE

2023.3.14|火| 12:00~17:00

スマートシティ、GX/DXに資する先進的なサービスを展開するOZCaF会員事業者間での未来志向型コミュニケーションを行う対話と繋がりを創出することを目的として、OZCaF INNOVATION CONFERENCE (略称:OZIC オジック)を立ち上げました。本事業を通じて、OZCaFがSDGs・脱炭素等の社会課題の解決と、持続可能な経済成長の両輪を加速させるエンジンとして一層発展すること及び、会員事業者間や自治体との共創、さらにはイノベーション創出の場としていきます。

第一部 パネルディスカッション

00. Opening Session
～公民連携のプラットフォームとしての存在意義と今後の可能性について～

一般社団法人OSAKAゼロカーボン・スマートシティファンデーション 代表理事 田中 靖訓
大阪府 スマートシティ戦略部 戦略推進室 地域戦略推進課 山藤 敦子 課長

01. Global
〈ファシリテーター〉 FC OSAKA 株式会社F.C.大阪 マーケティング/サレクター 青野 剛典 氏
〈パネリスト〉 東武トップアース株式会社 株式会社USEYA 大東建設株式会社 株式会社F.C.大阪

02. Smart City
〈ファシリテーター〉 COMPACT SMART CITY 一般社団法人スマートシティプラットフォーム協議会 代表理事 江川 梓 氏
〈パネリスト〉 Digital Platformer株式会社 Andeco 株式会社アンドコ SWAT Mobility Japan株式会社

03. OSPF
〈ファシリテーター〉 大阪府 スマートシティ戦略部 戦略推進室 地域戦略推進課 栗井 美里 氏
〈パネリスト〉 RekyonTrip 株式会社Reyon Trip scheme verge株式会社 Dreamly 株式会社Dreamly

04. Local Government
〈ファシリテーター〉 OZCaF 一般社団法人OSAKAゼロカーボン・スマートシティファンデーション 会長 百澤 正登
〈パネリスト〉 大阪府 枚方市 守口市 OZCaF

第二部 交流会

開催詳細
▶開催日:2023年3月14日(火)12時00分~17時00分
▶場 所:QUINTBRIDGE(大阪市都島区東野田町4丁目15番82号)
▶定 員:先着100名
▶対 象:OZCaF会員、OSPF会員、QB会員

申込方法
以下のフォームより、必要項目をご入力の上、ご送信ください。後日、ご登録のメールアドレスにご案内メールをお送りいたします。
〈参加申込フォーム〉 締切日:3月6日(月)17時
<https://forms.office/CT6RbRZcVDR6dEJH9>

お問い合わせは事務局まで
一般社団法人 OSAKAゼロカーボン・スマートシティファンデーション
TEL:06-6454-6683 E-mail:contact@ozcaf.jp

【共催】 OSAKA SMART CITY PARTNERS FORUM 大阪府

【OZCaF INNOVATION CONFERENCE詳細】

■開催日時：3月14日（火）12時00分～17時00分

■開催場所：QUINTBRIDGE

■プログラム：

（第一部）パネルディスカッション

（第二部）交流会【60分】

■主催：一般社団法人OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファンデーション

■共催：大阪スマートシティパートナーズフォーラム

■後援：大阪府

トークテーマについては、「スマートシティ」をテーマにパネルディスカッション（50分間）の実施をお願いいたします。イメージとしましては、豊能町におけるスマートシティの取り組みや今後の展望などについて、ディスカッションをお願いできましたら幸いです。

内容はまだこれからなので、イメージ

OSPFは8分なのでOZCaf Innovation でスマートシティの醸成する為のフローの話とそれに関わった企業のお話

スマートシティの構築の流れ



豊能町の実績を基に自治体が進めやすいスマートシティの構築

まずはスマホ教室から若年者と高齢者の交流から、イベントや課題に向けて構築しデジタル活用が進み利便性が向上した後間接人口で観光やリモートワークなど魅力ある街づくりへ。デジタルを活用した「新しい地域コミュニティ」の再構築へ



50分なので
江川：10分全体
各社：5-10分
パネルディスカッション
10-20分くらい

かな。

横展開WG：全体

		○：参加希望、×：参加不可、－：検討中 県の場合特定の市町																																				
		大阪府		福井県		茨城県		神奈川県		鹿児島県		愛知県		岐阜県		富山県		石川県		岡山県		兵庫県		栃木県		佐賀県		沖縄県		福島県		北海道		千葉県		東京都		
分科会	企業名	豊能町	熊取町	41市町村	13市町	若狭町	池田町	美浜町	福井市	笠間市	横浜市	鹿児島市	幸田町	養老町	15市町	19市町	真庭市	宝塚市	-	20市町	41市町村	大熊町	札幌市	市原市	館山市	調布市												
見守り (例)	A社	○		○	○					-	-	○	×	×	○																							
見守り	iTSCOM	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘルスケア	I&H	○		○	-	×	×	×	-	×	-	×	×	-	-	-	-	○	-	×	-	×	○	×														
	Movetex	○		○	-	×	×	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	○	-	×	-	×	○	×														
	Y4			○	○					○	○	○	○			○	○																					
	NTTコミュニケー	○			○											○	○																					
	ウェル	○		-	-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	GB																																			-		
子育て																																						
買物支援																																						
デジタル教育	NTTコミュニケー	○																																				
観光	おてつたび																																					
地域経済	Digital Platforme	○		○	○					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
モビリティ	NTTコミュニケー	○		○														○																				
	SWAT Mobility	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	iTSCOM	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ネクスト・モビ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	NOAA	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インフラ																																						
デジタル行政																																						
防災	Y4			○	○					○	○	○	○			○	○			○	○																	
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ連携基盤	OZ1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
プライム (PM)		CSPFC		NTT西							NTT東																											
対象自治体数	167																																					
人口数 (万人)	2,417	2	4	877	78					7	377	156	4	3	105	114	4	23	194	81	146	1	196	27												24		

<https://1drv.ms/x/s!ArcjBPTsqfJchuJKQHK5J0cFLV1Oqw?e=mDKcyN>

横展開希望企業は行の挿入し企業名を記入し、提案を事務局までご提出ください。

入力期限 10月31日→デジ田予算希望自治体へ提案書作成開始

デジ田向け資料作成予定/ (検討)

豊能町、(熊取町)、福井県、若狭町、笠間市、横浜市、富山県、(真庭市)

対象自治体は随時増えるので、常に更新予定

* 基本は豊能町モデル： 収益化も含めて豊能町でしっかり検証 (同じ問題は各地域で起こるので)

豊能町 (基礎) →福井県・笠間市 (応用) →その他自治体 (展開)

福井県
Type1準備中

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/dx-suishin/dx/digitaltuuka-puropo.html>

笠間市
Type1準備中
ヘルスケア、スマホ教室+eスポーツ？（検討中）

有田町
Type1準備中
スマホ教室+eスポーツ+α

横浜市
Type1
色々
補正Type1 or 他国プロ
子育て

富山県
Type1

真庭市
Type1準備中

申請期限は、令和5年2月20日（月）17時まで
289,249,202円（税込）を上限

● 関連ファイルダウンロード

- 01_01_公告（PDF形式 325キロバイト）
- 02_01_プロポーザル実施要領（PDF形式 249キロバイト）
- 02_02_様式1~3（Word形式 28キロバイト）
- 02_03_様式4（Excel形式 21キロバイト）
- 02_04_様式5（Word形式 27キロバイト）
- 03_01_プロポーザル_要求仕様書_本編（PDF形式 721キロバイト）
- 03_03_コンパクトスマートシティプラットフォーム接続仕様概要_v1.3（PDF形式 2,081キロバイト）
- 03_04_JP-Link_SecurityServer_Installation_Guide_v1.1(ja)（PDF形式 1,973キロバイト）
- 03_05_JP-Link_AdapterServer_Installation_Guide_v1.3(ja)（PDF形式 2,982キロバイト）
- 04_01_提案書作成要領（PDF形式 248キロバイト）
- 04_02_別添1_機能要件対応表（Excel形式 30キロバイト）
- 09_審査要領（PDF形式 256キロバイト）

予算関連

デジタル田園都市R5年度予算

1. 公園および周辺→地方創生拠点整備
 拠点整備タイプ 5億 (10億円) 1/2
 要件：官民協働 (PFI活用加点) / デジタル社会の形成
 (申込締切1月中下旬：他より少し早い)
2. デジタル実装タイプ
 今年もType3→マイナンバーC.新規用途開拓を中心に作成
3. モビリティ→Society5.0タイプへ移動→デジタル実装に戻す
 →経済産業省から予算案



公園

拠点整備 (補正) : 2.4億円で申請済

マイナンバーカード横展開

3億円? 申請します

Type3 ICタグ活用→サービス改修費

~~6億円? 申請します~~



2つ出しNG? →TypeXに絞る
 予算減ります。
 各企業のサービス内容減らします

再度、予算についての考え方

OSPFでの江川の説明： 自治体負担をなくし、民間活動で維持できることを考える。
 自治体の資産になるものは自治体とよく話をして予算を考える

豊能町：

予算を組む場合、小さい自治体では予算が厳しいため、既存事業に組み込めるかがポイント
 そのためには原課対応サービス内容を良く理解し、サービスに寄り添わせる形が望ましい
 新サービスは、既存サービスの予算を削る可能性が高くなるため、付加価値が問われる

その他：PERSONAL-LINK (都市OS) の改修 ネイティブアプリからWebアプリへの変更
 →12月末仕様書開示、4月β版、6-8月本番環境
 (利用者が色々アプリダウンロード大変なのでWeb化)

基本的に自治体が行うサービスは住民サービスで、住民が受益者となるので、可能な限り**受益者負担**になるように事業を確立を考えてください。
 (助成金は、事業立ち上げを支援する部分までなので、自走できるように工夫が必要です)

総務省

(令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業に係る採択候補の決定)

大阪府豊能町

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

* 真子事務局長が各社との調整中。各社ご対応お願い致します。

内閣府

未来技術社会実装事業 採択

→令和3年11月24日に第1回地域協議会開催

→令和4年2月24日に第2回 →依頼事項が記載しきれず6月へ変更

デジタル田園都市国家構想交付金

国土交通省（都市局）

「新モビリティサービス事業計画策定支援事業」へ採択 →交付決定

交付決定（内定） 12/7
交付決定 12/20

調達申請OK

(デジ田)

- 3月1日 各社報告書完成（遅れる場合は事務局相談）
- 3月10日 CSPFC報告書完成予定
- 3月10日～ 豊能町レビュー

※詳細日程事務局からの案内にて


(総務省)


- 2月20日頃 中間監査
- 3月20日 CSPFC報告書完成予定
- 3月30日～ 総務省書類提出


【実施計画】


令和5年3月17日（金）


※最終版（軽微な変更を含む）を提出してください。


 ①実績報告書（要綱別記様式第8,9）.docx

 ①'実績報告書（要綱別記様式第8,9）記載例.docx


 ②実績報告（要綱別紙様式II）.xlsx

 ④実績報告添付様式（TYPE1）.xlsx


 ④実績報告添付様式（TYPE23）.xlsx

 ⑤支出状況調査.xlsx

 ⑥精算払請求書（要綱別記様式第12）.docx

 ⑥'精算払請求書（要綱別記様式第12）記載例.docx

 国【事務連絡】デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）の実績報告等の手続きについて.pdf

 国【別添】デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプ実績報告の提出先及び提出方法.pdf

9月10月にアンケート原案を提出していただき、11月～12月にアンケートを実施していただきます。原案を提出していただきありがとうございます。

11月～12月 アンケート実施

1月～2月 第2回目アンケート実施

2月～3月 第3回目アンケート実施

1月～2月（ほぼ完了）

デジタル田園交付金採択企業は
KPIに合わせたアンケートは必ず作成して事務局へお願いします。

基本アンケートはGoogleアンケートをとよのんコンシェルジュにリンク

（現状アンケートリクエスト）

- ・モビリティ（受け取り済み）
- ・公園整備（受け取り済み）
- ・地域通貨（受け取り済み）
- ・見守り（受け取り済み）
- ・ヘルスケア（受け取り済み）



現在、第1回アンケート作成中

2月～3月に一括で対応検討

デジ田含めてKPIでアンケートが記載されている分科会はアンケートをお願いします。

デジタル庁委託先のDSA（データ流通協議会）のヒアリング 2月8日14:30～

電通国際サービス・OZ1 アンケートご協力ありがとうございました。

先方コメント：

「豊能町の取組はOSPFなど多くの活動情報があり、ヒアリングが非常にスムーズで内容も分かりやすかった」

会津若松、デジタル田園都市の試金石 カルデや通貨も
東奔北走

東北

2023年2月7日 5:00 [有料会員登録済]

保存

📧 📧 📧 📧 📧 📧

Think! 多様な観点からニュースを考える

記事本文の開始



観光分野では、まずスマートシティの視察旅行から始めた

福島県会津若松市で、国のデジタル田園都市国家構想に対応したスマートシティ事業が本格的にスタートした。ヘルスケア、防災、行政、食・農、観光、決済の6分野で次世代型サービスを提供する。個人データの積極的な活用や農家と飲食店の最適なマッチングなどに取組む。その先進性に全国の自治体から注目が集まっている。

同市は政府の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」で、5億5千万円を超す全国の自治体で最多額の補助を受けた。市と約90の企業・団体が構成する「AICT（アイクト）コンソーシアム」が実施主体として取り組みを推進。データ連携の基盤となる都市OSを活用して、デジタルサービスを提供する。

アイクトの海老原城一代表理事は「会津若松の特徴の一つは、個人データを活用して、今までにない挑戦をしていること。個人データは取り扱いに十分に注意する必要があるが、応用価値が高い」と説明する。今後、市民の同意を得ながら、「まずヘルスケア、防災、行政の3分野で活用していく」と話す。

ヘルスケア分野に関しては、昨年10月に市内にある竹田総合病院の受診者の中から希望者を対象に、ウェアラブル端末などネットを経由したIoT関連の医療サービスで得られた情報を医師が随時閲覧できるようにした。今年3月からは、患者が他の医療施設で受けた遠隔医療サービスの電子カルテ情報（処方情報）を、竹田総合病院の医師が診ることもできるようにする。「かかりつけ医などを含め、地域全体の医療リソースを有効活用するには、データの共有が必要だ」（海老原代表）との考えが背景にある。

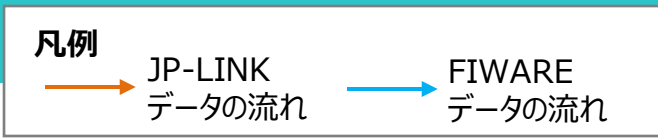
日本経済新聞 2月7日

会津若松でも90社がデータ連携で個人データ（個人情報？）を扱ってヘルスケア、防災、行政で活用が始まるそうです。

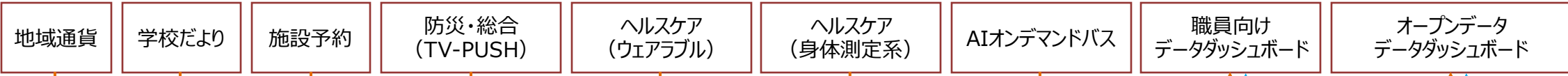
「今までにない挑戦をしている」みたいです！

CSPFCも頑張って会津若松に負けない取組にしていきましょう！

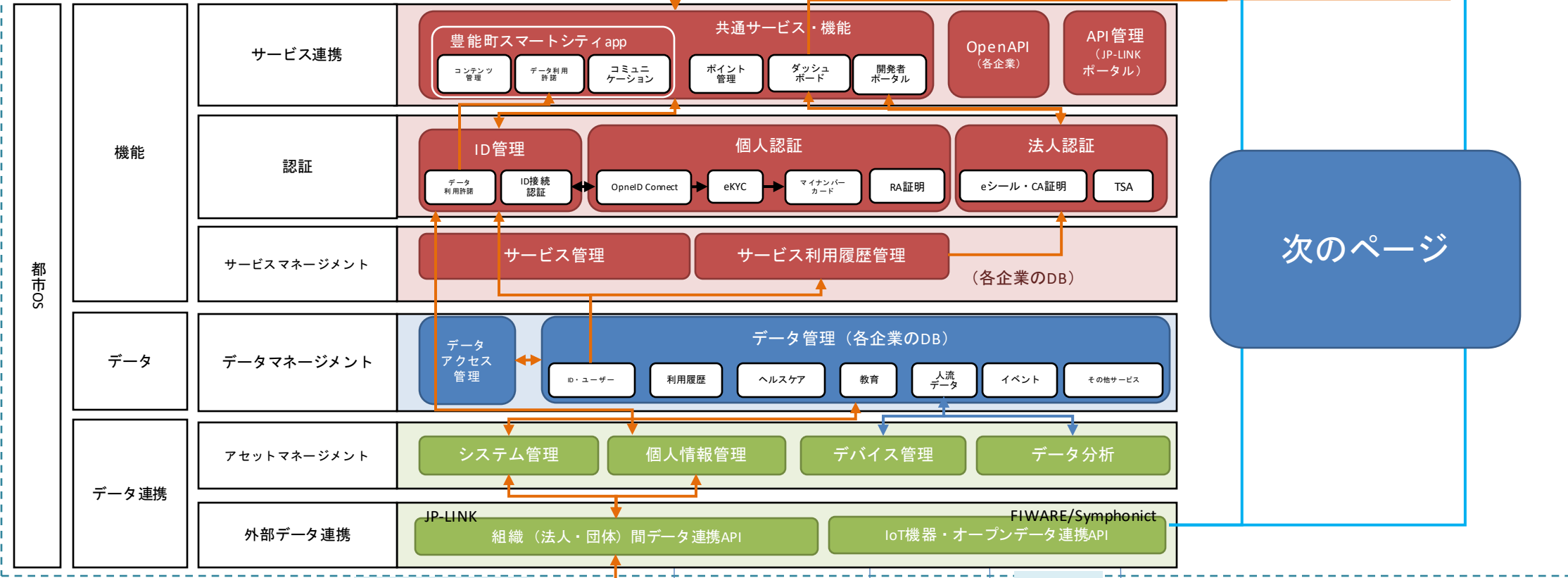
システム構成図 (豊能町)



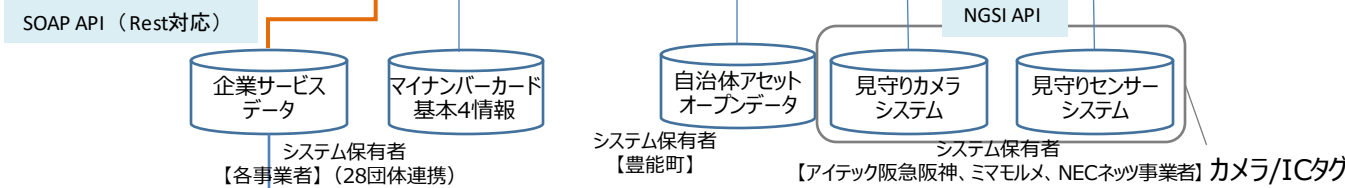
サービス



データ連携基盤



データ・アセット



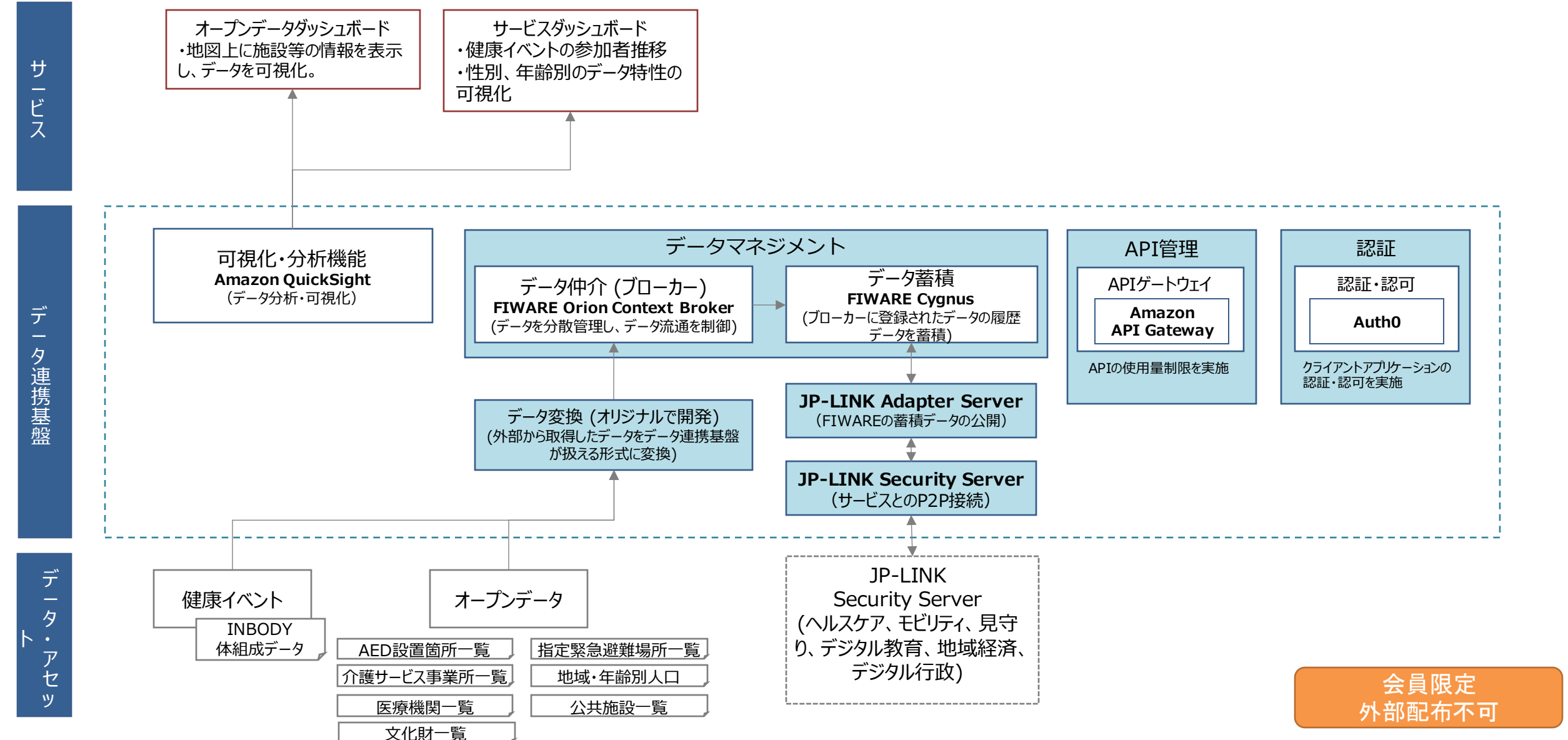
ヘルスケア、移動、見守り、防犯、行政、支払、観光

会員限定
外部配布不可

システム構成図（豊能町）

凡例

→ データの流れ



会員限定
外部配布不可

CSPFC事務局からの案内

対象企業：

NESIC様、OTTA様、I&H様、Y4.com様、イツツコム様、とよのていねい様、DP様、NTTコミュニケーションズ様、SWAT様、アンデコ様、ISID様、アスコエパートナーズ様、大阪NDS様、

~~1月19日（木）~~ 報告書雛形送付

2月21日（水） 第1回報告書（素案）提出期限

2月22日（木）～9日（木）調整

3月10日（金） 第2回報告書提出期限

3月11日（土）～24（金）各社様と最終調整

3月27日（月）～30日（木）事務局最終調整

3月31日（金） 豊能町へ提出

対象企業：NESIC様、三井住友海上様

2月20日（月） 総務省中間検査（CSPFC対応）

2月27日（金） 実績報告書暫定版提出 otta、MS → OZ1 → CSPFC

以下、CSPFC対応

3月6日（月） ○最終検査資料データ（※1）をメール提出
（実績報告書（案）は日付空欄）

3月6日（月）～24（金） 最終検査

3月27日（月） 実績報告書（日付入り）提出

3月31日（金） ○最終検査資料データ（実績報告書を除く）をメール提出

2022年

2月

~~2日 定例会（役場本庁 大会議室）~~

9日 定例会（WEB）

16日 定例会（WEB）

22日（水）定例会（QUINTBRIDGE）

スマートシティの取組みは豊能町とCSPFCとの連携協定をもとにおこなっております。
今後月例で原課にも分科会参加を予定します。

- ・ 各原課とのMeeting希望時の流れ
企業→CSPFC事務局→まちづくり創造課→原課
(状況把握のため、できる限り事務局同席でお願いします。オンラインで繋ぐなど)

原課とのMeeting注意点

企業から直接のコスト提示/交渉を原課と調整は行わない。

交付金や助成金の割り当てがあるので、CSPFC事務局とまちづくり創造課で確認が必要

- * コスト提示を原課と企業単独で行うと割り当てができず、案件が止まります。
- * 助成金の場合は、CSPFCが半額補填、国が半額補填しているので、割り当てができません。
CSPFCの補填は執行理事会および事務局での確認が入ります。
国からの予算（補填）：
 - ・ 各省庁の基本方針に従う。（横展開向け、新規性追求、実装/実証など）
 - ・ 予算の重複は、不可事項です。（予算の2重取りは禁止。場合により法的に裁かれます）
 - ・ 条件成立しない場合は、補助額返還を求められます。
- * 企業がCSPFCに半額補填してでも行う事業がある場合は別途相談ください。

1. 見守り（NECネットエスアイ） アイテック 阪急阪神 ミマモルメ Otta IT FORCE
2. ヘルスケア（I&H） Green Bioanalytics Maria スパーク Y4 ウエルグループ イッツコム
NTTコミュニケーションズ MOVETEX Nocode Japan アスコエ、ファイテン
3. 子育て（OZ1） （デジタル行政）
4. 買物支援（三井住友） ー
5. デジタル教育（OZ1） NoCodeJapan とよのていねい NTTコミュニケーションズ
6. 観光（おてつたび） OZ1/東武トップツアー
7. 地域経済（Digital Platformer） とよのていねい NoCodeJapan NTTコミュニケーションズ
8. モビリティ（NTTコミュニケーションズ） SWAT Mobility OZ1 アイサンテクノロジー
ネクスト・モビリティ イッツコム NOAA
9. インフラ（OZ1） アンデコ
10. デジタル行政（電通国際） NECネットエスアイ アスコエパートナーズ OZ1 セイコーソリューションズ NoCodeJapan
大阪NDS
11. 防災（三井住友） イッツコム
12. 横展開ワーキング(CSPFC)
13. セキュリティ委員会 トレンドマイクロ NECネットエスアイ アクリート GMOサイバーセキュリティ

分科会